



みんなで守る町の財産

三里松原は、響灘から吹き込む海風や飛砂から町を守る大切な役割を果たしています。そんな松原を未来につなげていくため、2月11日、黒山地区の三里松原内で、今年度2回目の松葉かきが行われました。当日集まった参加者およそ130人は、約2時間にわたり、地面に積もった松葉やコケを取り除き、松が育ちやすい砂地を整えました。

また、大きな問題になっている松枯れは、平成25年の33,112本をピークに、現在は1,000本程度にまで減少し、徐々に改善に向かっています。

これからも、町の大切な財産をみんなで守っていきましょう。

